

レインフォレスト・アライアンス例外的な使用に関する方針

禁止農薬の使用において認められる例外とその使用条件

文書SA-P-SD-9

第1.7版

JP

発効日 : 2025年1月1日

翻訳公開日 : 2024年11月1日



レインフォレスト・アライアンスは、自然を守り、農業生産者や森林地域に暮らす人々の生活レベル向上のために、社会と市場の力を役立て、より持続可能な世界を目指しています。

文書名	初版日	失効日
レインフォレスト・アライアンス例外的な使用に関する方針：禁止農薬の使用において認められる例外とその使用条件	2021年6月30日	2028年12月31日
関連文書（該当する場合、文書の番号と名称）		
SA-S-SD-1 レインフォレスト・アライアンス2020持続可能な農業基準、農場要件 SA-S-SD-22 付属文書 第4章：農業		
本文書の発行により廃止される文書		
SA-P-SD-9-V1.6 レインフォレスト・アライアンス例外的な使用に関する方針：禁止農薬の使用において認められる例外とその使用条件		
対象者		
農場認証保有者		

方針は拘束力を有します。方針は、それが適用される対象者にとって、関連する規則や要件を補完および/または優先させるものです。

詳細について

レインフォレスト・アライアンスの詳細については、www.rainforest-alliance.org にアクセスするか、info@ra.org または レインフォレスト・アライアンス アムステルダム事務所 (Rainforest Alliance Amsterdam Office, De Ruijterkade 6, 1013AA Amsterdam, The Netherlands) にお問い合わせください。

翻訳免責事項

翻訳に含まれる情報の正確な意味合いに関する質問がある場合は、英語の公式版を参照してください。翻訳により生じた意味の不一致や差異には拘束力がなく、審査や認証には一切影響しません。

レインフォレスト・アライアンスからの事前の書面許可なく本文書の記載内容を使用することは、複製、改変、配布、再発行も含め、固く禁じられています。



主な変更点

低投入型農業への移行に向けた取り組みにもかかわらず、特定の農作物が病害虫に対して極めて脆弱であること、また、これらの農作物に対して毒性の低い代替農薬を限定的にしか利用できないことから、非常に有害な農薬（HHP）に依存し続けています。解決策を見つけ、生産者がこれらの農薬の使用から移行できるよう支援する取り組みは続けられていますが、段階的廃止の期限を2026年から2028年まで延長することが提案されています。この延長期間中に、生産者は人々や環境への悪影響を最小限に抑えるための緩和策を実施し、より毒性の低い代替品を積極的に模索していかなければなりません。

マンゼブの段階的廃止期間を延長

斑葉病またはブラックシガトカ病（黒点葉枯病とも）（*Pseudocercospora fijiensis*）と呼ばれる病気は、バナナ栽培に深刻な損害をもたらし、輸出用に商業的に生産されるバナナだけではなく、地域の生活を支える品種にも影響を及ぼします。これは、経済的に最も打撃を与えるバナナの葉の病気で、農園全体を全滅させる可能性さえあります。ブラックシガトカ病はバナナの葉を破壊し、収穫量と品質の著しい低下、果実の早期熟成、果肉の膨らみ、長さ、重量への影響を引き起こします。商業用バナナの生産における遺伝的多様性の欠如と、多くの生産者が直面する生育条件により、ブラックシガトカ病に関連するリスクはさらに深刻化しています。

そのため、商業用バナナの生産には、主に栽培方法と化学的手法を組み合わせた厳格な病害虫管理プログラムが必要です。栽培管理方法として、ブラックシガトカ病を抑制するために厳格な対策を実施しなければなりません。その対策には、枯死した葉を取り除くことによる感染源レベルを低減する衛生管理、農作物内の相対湿度を低減するための効率的な排水システム、定期的な雑草除去、緑化、適切な栄養管理などが含まれます。

バナナ生産におけるブラックシガトカ防除に承認されている殺菌剤は「接触型」殺菌剤（保護殺菌剤とも）または「浸透移行性」の殺菌剤です。ベンズイミダゾール系などの浸透移行性殺菌剤は最も広く使用されていますが、耐性菌のリスクが高く、カーバメート系殺菌剤と併用した場合でも耐性菌のリスクが高いことが報告されています。一方、接触型殺菌剤は葉の下層組織に浸透しないため、耐性菌が発生するリスクはゼロか、あっても低いと考えられます。このうち、複数の病害に効果があるタイプのものが好まれますが、中でもマンゼブは広範囲に有効なため、最も人気のある薬剤です。

ブラックシガトカ病の化学的防除は、年々難しくなっています。浸透移行性殺菌剤に対する耐性が高まるにつれ、予測システムは使われなくなり、バナナ栽培を保護するために必要な化学薬品の散布回数は時間と共に増加しているのが現状です。また、防除には保護殺菌剤への依存度が高まり、それに伴い散布の頻度も増加しています。このような状況において、また、持続可能で毒性の低い化学的防除の代替剤がない場合に、マンゼブの使用はブラックシガトカ防除プログラムの重要な要素となっています。総合的病害虫管理（IPM）の取り組みの一環として、病害の発生が少ない時期にマンゼブを適切に使用することで、人体や環境への悪影響を緩和し、商業生産における収穫量と品質を向上させることができるのです。



本資料SA-P-SD-9-V1.7（第1.7版）は、前版のSA-P-SD-9-V1.6（第1.6版）から主に以下の点が変更されています。

項目	変更内容
3. 1. 肥料	<p>ホウ砂、ホウ酸塩 ホウ酸 上記の有効成分について、すべての農作物およびすべての国での例外的な使用を2028年12月まで延長。</p>
3. 2 殺鼠剤	<p>ブロディファコム ブロマジオン プロメタリン クロロファシノン クマテトラリル ジフェチアロン ダイファシノン フロクマフェン ストリキニーネ ワルファリン リン化亜鉛 上記の有効成分について、すべての農作物およびすべての国での例外的な使用を2028年12月まで延長。インフラへの使用のみに限定される。</p> <p>ブロディファコム ブロマジオン フロクマフェン 上記の有効成分について、コスタリカにおけるパイナップルに対する例外的な使用を2028年12月まで延長。ペレット製剤の使用は許可されるが、果物がある生産区画に限定される。</p>
3. 3. 殺線虫剤	<p>カズサホス フェナミホス オキサミル テルブホス 上記有効成分について、方針の内容に記載されている農作物、国、病害虫に対する使用許可を2026年12月まで延長。</p> <p>エトプロホス; エトプロップ* 上記有効成分について、方針の内容に記載されている農作物、国、病害虫に対する使用許可を2028年12月まで延長。</p>
3. 4. 殺虫剤 / 殺ダニ剤	<p>クロルピリホス* チアクロプリド 上記有効成分について、方針の内容に記載されている農作物、国、病害虫に対する使用許可を2026年12月まで延長。</p> <p>アバメクチン ホウ砂、ホウ酸塩 ホウ酸 イミダクロプリド スピロジクロフェン チアメトキサム 上記有効成分について、方針の内容に記載されている農作物、国、病害虫に対する使用許可を2028年12月まで延長。</p>



3. 5. 貯 穀 害 虫 駆 除 の た め の 燻 蒸 剤	<p>リン化アルミニウム ホスフィン</p> <ul style="list-style-type: none">すべての国において、複数の病害虫防除を目的としたカカオおよびコーヒーに対する例外的使用を、2028年12月まで延長。 <p>リン化アルミニウム リン化マグネシウム ホスフィン</p> <ul style="list-style-type: none">すべての国において、複数の病害虫防除を目的としたハーブ類・スパイス類に対する例外的使用を、2028年12月まで延長。 <p>リン化マグネシウム ホスフィン</p> <ul style="list-style-type: none">コロンビアにおいて、アザミウマ (<i>Frankliniella</i>属, <i>Thrips</i>属) 防除を目的とした花卉類に対する例外的な使用を2028年12月まで延長。 <p>リン化アルミニウム リン化マグネシウム ホスフィン</p> <ul style="list-style-type: none">すべての国において、複数の病害虫防除に関する適用法で義務付けられている場合に、あらゆる農作物への例外的使用を2028年12月まで延長。
3. 6. 殺 菌 剤	<p>テトラクロロイソフタロニトリル プロピコナゾール</p> <p>上記有効成分について、方針の内容に記載されている農作物、国、病害虫に対する使用許可を2026年12月まで延長。</p> <p>マンゼブ</p> <p>マンゴーに対する、方針の内容に記載されている国および病害虫の防除における使用許可を2026年12月まで延長。</p> <p>カルベンダジム シプロコナゾール ジメトモルフ エポキシコナゾール イプロジオン マンゼブ トリアジメノール</p> <p>上記有効成分について、方針の内容に記載されている農作物、国、病害虫に対する使用許可を2028年12月まで延長。</p>



目次

1. はじめに	7
2. 一般条件	8
3. リスク軽減策	8
4. 認められる例外とその条件	12
4.1.肥料	12
4.2 殺鼠剤	12
4.3.殺線虫剤	15
4.4.殺虫剤/殺ダニ剤	18
4.5.貯穀害虫駆除のための燻蒸剤	23
4.6.殺菌剤	25



1. はじめに

健康で回復力のある農業生態系は、農薬への依存を最小限に抑えて構築・維持することができます。適正農業規範と[総合的病害虫管理](#)（IPM）の活動内容を実施することで、生産者は人間と環境の健康を守りながら、長期的な病害虫駆除を実現することが可能です。世界的に（農薬の）低投入型農業への移行が進められているものの、多くの農業モデルは、人や生態系に有害であることが知られている非常に有害な農薬（HHPs）を含む農薬に依存しているのが現状です。

この例外的な使用に関する方針（EUP）の目的は、[レインフォレスト・アライアンス（RA）2020持続可能な農業基準](#)と並んで、非常に有害な農薬（HHPs）の使用を段階的に廃止していく過程で生産者のニーズに対応することです。そのため、例外的な使用に関する方針（EUP）はレインフォレスト・アライアンスの[禁止農薬リスト](#)に含まれる特定の農薬の使用を、限定的に例外として認めています。例外は、特定の農作物、病害虫、国の組み合わせ、および特定の期間のみ認められます。例外が認められるのは、非常に有害な農薬（HHPs）に代わる実行可能な代替品がない場合、および問題の有効成分の使用を制限することで農場の経済的存続が阻害される場合のみです。さらに、例外が認められる場合、生産者は人や環境への悪影響を最小限に抑えるための厳格なリスク緩和策を実施し、毒性の低い代替品を積極的に探さなければなりません。

例外的な使用に関する方針（EUP）申請の評価と例外を認める過程では、特定の農業生態学的・経済的状况、生産者のニーズ、病害虫の圧力、利用可能な代替品について徹底的に分析します。この分析は、レインフォレスト・アライアンスのIPMチームと、関連分野の持続可能な生産について幅広い知識を持つ外部の科学者や技術専門家の有識者団によって実施されます。登録農薬や最大残留基準値に関する国別のデータは、[Homologa](#)やGlobal Crop Protectionデータベースなどの外部ツールも使用して評価されます。

重要事項

- 例外的な使用に関する方針（EUP）は、[付属文書第4章：「農業」](#)に記載された手順に従い、認証生産者から送られた申請をもとに作成されます。申請は、前述の通り処理および分析されます。最終的な決定は、外部の有識者団が慎重に検討した上で、RAのIPMチームの多数決によって下されます。例外的な使用に関する方針（EUP）は前期に寄せられた申請をもとに、半年ごとに更新されます。
- ロッテルダム条約、ストックホルム条約、モントリオール議定書において有害と分類されるパラコート、フィプロニル、および他の有効成分の例外は認められません。これは、レインフォレスト・アライアンスのIPM戦略と持続可能な農業の目的に沿った方針です。

レインフォレスト・アライアンスの統合的病害虫管理のアプローチと例外的な使用に関する方針（EUP）の手順についての詳細は、[こちらのウェブサイト](#)をご覧ください。



2. 一般条件

- a. 本方針の条件または要件のいずれかに適合しない場合、レインフォレスト・アライアンス2020持続可能な農業基準の主要要件 4.6.2 に対する不適合とみなされる。
- b. 例外は、特定の農作物、病害虫、国の組み合わせに対してのみ、また、許可された例外の項目の表に明記されている、定義された期間において認められる。
- c. 本方針に記載された有効成分の市販製剤は、特定の農作物と対象病害虫の組み合わせについて国内で登録されている場合のみ使用できる。
- d. 認証事業者は、本方針に記載されている農薬の準備と散布に関するラベル、製品安全データシート (MSDS)、セキュリティタグの情報および要件に従わなければならない。
- e. 本方針に記載されている有効成分を使用する認証事業者は、特に以下に重点を置き、それぞれのIPMおよび農薬管理の要件に準拠していること。
 - 病害虫の予防と監視 (要件 4.5.1 および 4.5.2)
 - 非化学的防除方法の使用 (要件 4.5.3)
 - 研修とPPEの使用 (要件4.6.3)
 - 立ち入り制限と農薬散布から収穫までの適切な間隔の設定・実施 (要件 4.6.5)
 - 農薬の飛散低減 (要件4.6.6)
 - 空中散布に関する要件 (要件 4.6.7)
 - 空の農薬容器と散布装置の管理 (要件4.6.9)
 - 農薬の保管 (要件4.6.11 および 4.6.12)
- f. 本方針に記載されている有効成分は、抵抗性管理のためのローテーションの一環として、より毒性の低い物質と交互に使用する。
- g. 本方針に記載されている有効成分を使用する認証事業者は、最大限の効果を得られ、無駄を抑えて、農薬の飛散を低減するために最適な農薬散布装置と技術を選択する。液体スプレーを使用する場合、正しいノズルタイプを採用する。装置の較正は、少なくとも年1回、各メンテナンスの後、また異なる種類の農薬を使用する前に行う。
- h. 生産者は、製品の生産国および既知の仕向国によって設定された最大残留基準値 (MRL) を遵守する措置を講じる。
- i. 本方針に記載されている有効成分を定期的に取り扱う労働者は、少なくとも年1回の健康診断を受ける。定期的に**有機リン系またはカーバメート系農薬¹**にさらされる場合、コリンエステラーゼの検査が含まれる。労働者は健康診断の結果を知ることができる (要件5.6.16)。
- j. 小規模農場の場合、散布は一元化された専門の散布チームによって実行される。
- k. 本方針に含まれる薬病防除に対するトリアゾール系薬剤 (シプロコナゾール、エポキシコナゾール、プロピコナゾール、トリアジメノール) の**土壌への散布**は、汚染リスクを最小限に抑えながら例外となる物質を最も正確かつ効率的に使用しなければならないため、禁止とする。詳しくは、[コーヒーノキ葉さび病の技術文書をご参照ください。 コーヒーノキ葉さび病 \(Hemileia Vastatrix\) 防除のためのトリアゾール系薬剤の使用について](#)。
- l. 本方針に記載されている有効成分を使用する認証保有者は、毎年、使用量のデータをレインフォレスト・アライアンスに提出する必要がある。1月1日から12月31日までの情報をこの[テンプレート](#)にまとめて、翌年の最初の2ヶ月以内に提出するものとする。

3. リスク軽減策

3.1 殺鼠剤のリスク管理要件：

¹ これらの物質は、表中にアスタリスク (*) を付けて記されています。



- a. ネズミ類の餌となるもの、ゴミを排除する。
- b. ネズミ類の繁殖場所をなくす、または減らす。
- c. 排水路の手入れをきちんと行い、水の流出に対して排水機能が働き、水が滞留しないようにする。
- d. 機械または微生物を利用した防除方法、あるいはビタミンDによる防除方法が有効でないことが証明された場合にのみ、殺鼠剤を使用する。
- e. ネズミ類の死骸は手袋をつけて取り扱い、人間や野生動物の健康、水質汚染へのリスクがない場所に埋める。
- f. ネズミ類の駆除のために猛禽類が止まりやすいよう、農場内に木や人工物を戦略的に配置する。²
- g. ネズミ類を追い払う効果のある植物を非生産範囲に植える（例: *Petiveria alliacea*, *Allium* 属, *Cinnamomum camphora*, *Viburnum* 属, *Euphorbia* 属, *Artemisia absinthium* または *Mentha spicata*）

3.1.2. 餌付き捕獲器に関する追加要件：

- a. 餌付き捕獲器は、いたずら防止機能付きで固定できるもの、対象となる有害生物のみの侵入を可能にする方式と大きさで作られていること。
- b. 餌付き捕獲器は毎週検査する。
- c. ネズミ類の活動が低下している、または餌を食べた形跡がない場合は、餌付き捕獲器を除去するか、餌の量を減らす。
- d. 餌付き捕獲器は水生生態系から最低10mの距離をおいて設置する。

3.1.3. ペレット製剤に関する追加要件：

- a. 鳥が餌と混同しない製剤のみを使用する。
- b. 日常的な使用は禁止。
- c. フェンスやその他の効果的なセキュリティ対策を講じることにより、見物人の立ち入りを回避する。
- d. ペレットは水生生態系から最低10mの距離をおいて設置する。

3.2 急性および慢性毒性を有する物質に関するリスク管理要件：

- a. 50歳未満の女性は、これらの農薬の散布は行わず、散布場所には立ち入らない、または近寄らない。
- b. 防護用具（PPE）は製品のラベルまたは製品安全データシート（MSDS）の記載どおりに着用する。ラベルに農薬散布者のPPEに関する詳細が記載されていない場合は、目を保護するもの（フェイスマスクやゴーグルなど）、および呼吸用保護具（防毒マスクなど）を備えた基本的な防護服を着用。
- c. 製品のMSDS、ラベルまたはセキュリティタグに規定された立ち入り制限期間（REI）を設定し、PPEを着用せずに農薬散布区域に入る人を保護するものとする。REIが異なる2つ以上の製品が同時に使用される場合、最も長い間隔が適用される。
- d. 散布者の1日の最大散布時間は8時間、最大4時間ずつの2シフトとし、散布時間の間には残留物を洗い流すために入浴し、シフトごとに清潔なPPE衣類を着用する。散布は一日のうちで最も涼しい時間帯に行われる。
- e. 影響を受ける可能性のある人たちまたはコミュニティを事前に特定し、散布前に警告する。散布された範囲を明確に示すために、わかりやすい旗や標識を使い、散布場所への立ち入りを禁止する。

3.3 深刻な影響（授粉媒介者に対する毒性）を有する物質に関する一般的なリスク管理要件：

² 推奨：猛禽類のための巣箱を設置し、繁殖場所を確保しやすくする。



- a. 生産者はこれらの物質について、花をつける農作物には散布せず、花をつける雑草への飛散を防止し、益虫（天敵や授粉媒介者）が好む農作物を覆い保護する。
- b. 益虫を監視し、その結果に基づいて散布時期を決定する。活動量が高い時間帯の散布は避ける。授粉媒介者の活動量が低い時間帯である午後6時以降の遅い時間帯や夜間に散布を行うのが理想的である。
- c. 授粉に養蜂箱を使用している場合、薬剤散布中は一時的にその箱を覆い保護する。養蜂箱には、散布区域外のきれいな水を使用する。
- d. 土壌への接触や地下水への溶出を軽減するため、最大限に土壌を被覆する（被覆作物、マルチング、作物残渣など）。ただし、灌注処理の場合は該当しない。
- e. 益虫のエサや住みかになるものを提供するため、またより安定した農業生態系を育むために、農場外または農場内の農作物の畑の端に原植物の花畑を作る。

3.5.1. 燻蒸剤（吸入すると生命に危険を及ぼす）に関するリスク管理要件：

- a. 燻蒸剤は、ガス漏れ検知器（ガスマーター）が設置されている閉鎖・管理・密閉された環境でのみ適用される。これらの検知器は、携帯用機器でもよい。
- b. 燻蒸処理を行う倉庫またはコンテナの周囲には緩衝地帯を設ける。緩衝地帯は、保護具（例：ガスマスク）を着用した許可された者のみが立ち入り可能。緩衝地帯の広さは、散布量、施設、倉庫・コンテナの大きさに応じ、3～150mとする。火災防止目的だけでなく、許容範囲の職業ばく露限界値を管理するために、ガスマータを緩衝地帯の周囲に沿って数カ所に設置する。パラメータは、国の規制または下記（いずれか厳しい方）と照合される。
 - i. 濃度が 0.3ppm を超えた場合、無防備な労働者や見物人の立ち入りを禁止し、その区域から避難させる。
- c. 燻蒸処理が行われる場所や物質が保管されている場所の近くでは、ホスフィンガスが不意に発火しないような方法で電気を設置し、すべての発火源を取り除く。
- d. 燻蒸剤取扱者は、製品別研修資料、施設別情報に関する年次必修研修を修了していること。燻蒸が行われる場所、または物質を保管している場所で働く人は、消火のための特定の消火器（砂、二酸化炭素の粉末）の使用について訓練を受け、その設備を装備していること。消火のために水を使用することは禁止されている。
- e. 防護用具（PPE）は製品のラベルまたはMSDS（製品安全データシート）の記載どおりに着用する。散布者のPPEの詳細がラベルに記載されていない場合は、目を保護するもの（フェイスマスクやゴーグルなど）を備えた基本的な防護服³、および下記の呼吸用保護具を着用する。

濃度	必須装備
3ppm以下	送気マスク
7.5 ppm以下	一定流量形の送気マスク
15 ppm以下	<ul style="list-style-type: none"> ● 全面形自給式呼吸器、または ● 全面形送気マスク、または ● 直結式または隔離式の全面形ろ過式呼吸用保護具（防毒マスク）
50 ppm以下	<ul style="list-style-type: none"> ● プレッシャデマンド形全面形送気マスク、または ● プレッシャデマンド形全面形自給式呼吸器
不明	全面形自給式呼吸器

出典：米国国立労働安全衛生研究所（NIOSH）の推奨する装備

³ 農薬を取り扱う人のための衣料品や靴。長袖のシャツ、長ズボン、靴下、頑丈な靴、耐薬品性の手袋、目を保護するもの（フェイスマスクやゴーグルなど）、呼吸保護具（レスピレーターなど）を含む。[付属文書1：用語集](#)より



4. 認められる例外とその条件

4.1. 肥料

レインフォレスト・アライアンスは、表1に記載された条件を完全に満たす場合に限り、以下の肥料の使用を許可します。

条件：慢性毒性に関するリスク管理

要件が完全に実施されていること（上記リスク管理の項を参照）。肥料はホウ素欠乏が確認された土壌にのみ散布することが認められる。

表1. 認められる禁止肥料の例外

有効成分	CAS番号	毒性分類	病害虫	農作物	国	有効期限
ホウ砂、ホウ酸塩	1303-96-4	慢性毒性	適用外	すべての農作物	すべての国	2028年12月31日
ホウ酸	10043-35-3	慢性毒性	適用外	すべての農作物	すべての国	2028年12月31日

4.2 殺鼠剤

レインフォレスト・アライアンスは、表2に記載された条件を完全に満たす場合に限り、以下の殺鼠剤の使用を許可します。

条件：殺鼠剤を練り込んだ餌付き捕獲器のみ使用可能。インフラへの使用のみに限定される。殺鼠剤または急性毒性に関するリスク管理要件の項に記載されているリスク管理要件が完全に実施されていること。

表2. 認められる禁止殺鼠剤の例外

有効成分	CAS番号	毒性分類	病害虫	農作物	国	有効期限
プロディファコム	56073-10-0	急性毒性	齧歯目 (Mus属, Rattus属, Oligoryzomys属, Peromyscus属, Sigmodon属)	すべての農作物	すべての国	2028年12月31日



有効成分	CAS番号	毒性分類	病害虫	農作物	国	有効期限
プロマジオロン	28772-56-7	急性毒性	齧歯目 (Mus属, Rattus属, Oligoryzomys属, Peromyscus属, Sigmodon属)	すべての農作物	すべての国	2028年12月31日
プロメタリン	63333-35-7	急性毒性	齧歯目 (Mus属, Rattus属, Oligoryzomys属, Peromyscus属, Sigmodon属)	すべての農作物	すべての国	2028年12月31日
クロロファシノン	3691-35-8	急性毒性	齧歯目 (Mus属, Rattus属, Oligoryzomys属, Peromyscus属, Sigmodon属)	すべての農作物	すべての国	2028年12月31日
クマテトラリル	5836-29-3	急性毒性	齧歯目 (Mus属, Rattus属, Oligoryzomys属, Peromyscus属, Sigmodon属)	すべての農作物	すべての国	2028年12月31日
ジフェチアロン	104653-34-1	急性毒性	齧歯目 (Mus属, Rattus属, Oligoryzomys属, Peromyscus属, Sigmodon属)	すべての農作物	すべての国	2028年12月31日
ダイファシノン	82-66-6	急性毒性	齧歯目 (Mus属, Rattus属, Oligoryzomys属, Peromyscus属, Sigmodon属)	すべての農作物	すべての国	2028年12月31日



有効成分	CAS番号	毒性分類	病害虫	農作物	国	有効期限
フロクマフェン	90035-08-8	急性毒性	齧歯目 (Mus属, Rattus属, Oligoryzomys属, Peromyscus属, Sigmodon属)	すべての農作物	すべての国	2028年12月31日
ストリキニーネ	57-24-9	急性毒性	齧歯目 (Mus属, Rattus属, Oligoryzomys属, Peromyscus属, Sigmodon属)	すべての農作物	すべての国	2028年12月31日
ワルファリン	81-81-2	急性毒性	齧歯目 (Mus属, Rattus属, Oligoryzomys属, Peromyscus属, Sigmodon属)	すべての農作物	すべての国	2028年12月31日
リン化亜鉛	1314-84-7	急性毒性	齧歯目 (Mus属, Rattus属, Oligoryzomys属, Peromyscus属, Sigmodon属)	すべての農作物	すべての国	2028年12月31日
プロディファコム ペレット剤の使用は許可されるが、果物がある生産区画に限定される。	56073-10-0	急性毒性	齧歯目 (Mus属, Rattus属, Oligoryzomys属, Peromyscus属, Sigmodon属)	パイナップル	コスタリカ、フィリピン	2028年12月31日
プロマジオロン ペレット剤の使用は許可されるが、果物がある生産区画に限定される。	28772-56-7	急性毒性	齧歯目 (Mus属, Rattus属, Oligoryzomys属, Peromyscus属, Sigmodon属)	パイナップル	コスタリカ	2028年12月31日



有効成分	CAS番号	毒性分類	病害虫	農作物	国	有効期限
フロクマフェン ペレット製剤の使用は許可されるが、果物がある生産区画に限定される。	90035-08-8	急性毒性	齧歯目 (Mus属, Rattus属, Oligoryzomys属, Peromyscus属, Sigmodon属)	パイナップル	コスタリカ	2028年12月31日

4.3.殺線虫剤

レインフォレスト・アライアンスは、表3に記載された条件を完全に満たしている場合に限り、以下の殺線虫剤の使用を許可します。

条件：急性毒性に関するリスク管理要件が完全に実施されていること（上記リスク管理の項を参照）。

表3.認められる殺線虫剤の例外

有効成分	CAS番号	毒性分類	病害虫	農作物	国	有効期限
カズサホス* - 鳥が餌と混同しない製剤のみを使用。 - これらの殺線虫剤を散布する装置は、日常的に較正を行う 対象：バナナ - 植物の根域に正確に製剤を散布するスポット散布方法のみ許可される。 対象：パイナップル - 予防的な使用は認められない。 - 1サイクルに1回のみ散布が許可される。	95465-99-9	急性毒性	線虫類 (各種)	バナナ	コスタリカ ホンジュラス グアテマラ エクアドル	2026年12月31日
			カタツムリ (Cecilioides aperta, Opeas pumilum)	パイナップル	コスタリカ	2026年12月31日



エトプロホス; エトプロップ* - 鳥が餌と混同しない製剤のみを使用。 対象：バナナ - 植物の根域に正確に製剤を散布するスポット散布方法のみ許可される。 - これらの殺線虫剤を散布する装置は、日常的に校正を行う。 対象：パイナップル - 密閉型キャビントラクターによる散布方法のみ許可される。	13194-48-4	急性毒性	線虫類（各種）	バナナ	コスタリカ ホンジュラス グアテマラ エクアドル	2028年12月31日
			線虫類（各種）、コムカデ綱 (<i>Scutigereilla immaculata</i>)	パイナップル	コスタリカ	2028年12月31日
フェナミホス* - 鳥が餌と混同しない製剤のみを使用。 対象：バナナ - スポット散布のみ可。 - 1年に1回のみ散布が許可される。 対象：パイナップル - 密閉型キャビントラクターによる散布方法のみ許可される。	22224-92-6	急性毒性	線虫類（各種）	バナナ	ベリーズ コスタリカ グアテマラ パナマ	2026年12月31日
			線虫類（各種）	パイナップル	コスタリカ コートジボワール	2026年12月31日
オキサミル* 対象：バナナ - スポット散布のみ可。 対象：パイナップル - 密閉型キャビントラクターによる散布方法のみ許可される。	23135-22-0	急性毒性	線虫類（各種）、バシヨウオサゾウムシ (<i>Cosmopolites sordidus</i>)	バナナ	ベリーズ カメルーン コスタリカ エクアドル グアテマラ ホンジュラス コートジボワール パナマ フィリピン	2026年12月31日



					スペイン・カナリア 諸島のみ スリナム	
			線虫類（各種）	パイナップル	コスタリカ エクアドル グアテマラ ホンジュラス コートジボワール パナマ	2026年12月 31日
テルブホス* - スポット散布のみ可。 - 鳥が餌と混同しない製剤のみを使用。 - これらの殺線虫剤を散布する装置は、日常的に較正を行う。	13071 -79-9	急性毒性	線虫類（各種）、バショウオサゾウムシ（ <i>Cosmopolites sordidus</i> ）	バナナ	ベリーズ カメルーン コスタリカ エクアドル グアテマラ ホンジュラス コートジボワール パナマ	2026年12月 31日



4.4.殺虫剤/殺ダニ剤

レインフォレスト・アライアンスは、表4に記載された条件を完全に満たす場合に限り、以下の殺虫剤/殺ダニ剤の使用を許可します。

条件：急性毒性、慢性毒性、深刻な影響（授粉媒介者）に対するリスク管理戦略が完全に実施されていること。

表4.認められる禁止殺虫剤・殺ダニ剤の例外

有効成分	CAS 番号	毒性分類	病害虫	農作物	国	有効期限
アバメクチン ⁴	717 51- 41-2	急性毒性	ダニ (<i>Tetranychus urticae</i>)	アスパラガス	ペルー	2028年 12月31 日
			ダニ類 (<i>Oligonychus</i> 属, <i>Panonychus</i> 属, <i>Brevipalpus chilensis</i> , <i>Tetranychus urticae</i> , <i>Polyphagotarsonemus latus</i> , <i>Aceria sheldoni</i> , <i>Bryobia rubrioculus</i>)、アザミウマ (<i>Heliothrips</i> 属, <i>Frankliniella</i> 属)、コナジラミ (<i>Aleurodicus juleikae</i>)、カメムシの一種 (<i>Dagbertus minensis</i>)、カイガラムシ類 (<i>Fiorinia fiorinae</i> , <i>Pinnaspis aspidistrae</i> , <i>Hemiberlesia lataniae</i>)	アボカド	コロンビア グアテマラ メキシコ ペルー	2028年 12月31 日
			線虫類 (各種)、バショウオオサゾウムシ (<i>Cosmopolites sordidus</i>)、コナカイガラムシ (<i>Pseudococcus</i> 属, <i>Ferrisia</i> 属, <i>Dysmicoccus</i> 属)、ダニ (<i>Tetranychus</i> 属)	バナナ	ベリーズ コロンビア コスタリカ エクアドル グアテマラ ホンジュラス ニカラグア パナマ	2028年 12月31 日
			ダニ類 (<i>Panonychus ulmi</i> , <i>Tetranychus urticae</i> , <i>Bryobia rubrioculus</i> , <i>Brevipalpus chilensis</i> , <i>Eriophyes erineus</i> , <i>Oligonychus yothersi</i> ,	サクランボ	チリ	2028年 12月31 日

⁴ 推奨：製剤によっては、アバメクチンと園芸用または蒸留範囲が狭く高度に精製されたオイルを併用することで、効果が高まり、散布時の農薬の飛散を低減することができる。



有効成分	CAS 番号	毒性分類	病害虫	農作物	国	有効期限
			<i>Panonychus citri</i> , <i>Aculus cornutus</i>)、アザミウマ (<i>Frankliniella occidentalis</i>)			
			ダニ類 (<i>Tetranychus urticae</i> , <i>Oligonychus</i> 属, <i>Panonychus</i> 属, <i>Brevipalpus</i> 属, <i>Polyphagotarsonemus latus</i> , <i>Eriophyes</i> 属, <i>Aceria sheldoni</i> , <i>Bryobia rubrioculus</i> , <i>Phyllocoptruta oleivora</i> , <i>Colomerus vitis</i>)、ミカンハモグリガ (<i>Phyllocnistis citrella</i>)、クロトンアザミウマ (<i>Heliothrips haemorrhoidalis</i>)、ミカンキジラミ (<i>Diaphorina citri</i>)	柑橘類	ブラジル チリ ペルー	2028年 12月31 日
			ハモグリガの一種 (<i>Leucoptera coffeella</i>)、ダニ (<i>Tetranychus urticae</i> , <i>Oligonychus ilicis</i> , <i>Brevipalpus phoenicis</i>)、線虫類 (各種)	コーヒー	ブラジル コロンビア エルサルバドル グアテマラ ホンジュラス ニカラガ パナマ タンザニア ザンビア ペルー	2028年 12月31 日
			ダニ (<i>Tetranychus</i> 属)、ハモグリバエ (<i>Liriomyza</i> 属)、アザミウマ (<i>Frankliniella</i> 属, <i>Thrips</i> 属)、線虫類 (各種)	花卉類	コロンビア エクアドル グアテマラ メキシコ	2028年 12月31 日
			ダニ (<i>Colomerus vitis</i> , <i>Tetranychus</i> 属, <i>Brevipalpus chilensis</i>)、ネッタイマダラメイガ (<i>Cryptoblabes gnidiella</i>)	ブドウ	ブラジル チリ ペルー	2028年 12月31 日
			カイガラムシ類 (<i>Pinnaspis aspidistrae</i>)	マンゴー	ブラジル	2028年 12月31 日



有効成分	CAS 番号	毒性分類	病害虫	農作物	国	有効期限
			ハモグリバエ (<i>Liriomyza</i> 属)、ダニ (<i>Tetranychus</i> 属)、アメリカウリノメイガの幼虫 (<i>Diaphania nitidalis</i>)、タバココナジラミ (<i>Bemisia tabaci</i>)	メロン	ブラジル コスタリカ	2028年 12月31 日
			ダニ (<i>Tetranychus urticae</i> , <i>Eotetranychus lewisi</i>)	パパイヤ	コスタリカ	2028年 12月31 日
			ダニ (<i>Polyphagotarsonemus latus</i>)	ペッパー (トウガラシ)	ペルー	2028年 12月31 日
			ハモグリバエ (<i>Liriomyza huidobrensis</i>)	ジャガイモ	ブラジル ウガンダ	2028年 12月31 日
			ダニ (<i>Tetranychus urticae</i>)、線虫類 (各種)、モロコシマダラメイガ (<i>Elasmopalpus lignosellus</i>)	大豆	ブラジル	2028年 12月31 日
			ハモグリバエ (<i>Liriomyza</i> 属)	スイカ	ブラジル コスタリカ	2028年 12月31 日
ホウ砂、ホウ酸塩	130 3- 96-4	慢性毒性	ハキリアリ、シロアリ	すべての農作物	すべての国	2028年 12月31 日
ホウ酸	100 43- 35-3	慢性毒性	ハキリアリ、シロアリ	すべての農作物	すべての国	2028年 12月31 日



有効成分	CAS 番号	毒性分類	病害虫	農作物	国	有効期限
クロルピリホス* 対象：バナナ 含浸プラスチックにのみ使用を許可。 対象：パイナップル 密閉型キャビントラクターによる散布方法のみ 許可される。開花前のみ使用可。	292 1- 88-2	慢性毒性	コナカイガラムシ (<i>Pseudococcus</i> 属, <i>Ferrisia</i> 属, <i>Dysmicoccus</i> 属)、アブラムシ (<i>Pentalonia</i> 属)、ハムシ科の一種 (<i>Colaspis</i> 属)	バナナ	コロンビア コスタリカ エクアドル グアテマラ ホンジュラス フィリピン	2026年 12月31 日
			コムカデ綱 (<i>Scutigerella immaculata</i>)	パイナップル	コスタリカ エクアドル コートジボ ワール	2026年 12月31 日
イミダクロプリド 対象：バナナ スポット散布のみ可。 対象：コーヒー - スポット散布のみ可 - 収穫前と後に慣習的な管理方法を実施。 - 開花登録を行う。開花後60日から90日の間にのみ 散布する。閾値は4%	138 261- 41-3	深刻な影響 (授粉 媒介者のリスク)	カスミカメムシ科の一種 (<i>Distantiella theobroma</i>)、カカオカスミカメムシ (<i>Sahlbergella singularis</i>)、ヘロペルティス属 (<i>Helopeltis</i> 属)、コウチュウ目コガネムシ科の幼 虫 (<i>Phyllophaga</i> 属)	カカオ	リベリア	2028年 12月31 日
			コナカイガラムシ (<i>Pseudococcus</i> 属, <i>Ferrisia</i> 属, <i>Dysmicoccus</i> 属)、アブラムシ (<i>Pentalonia</i> 属)、バショウオオサズウムシ (<i>Cosmopolites sordidus</i>)、カイガラムシ類 (<i>Aspidiotus destructor</i> , <i>Diaspis boisduvallii</i>)	バナナ	カメルーン コスタリカ エクアドル グアテマラ ホンジュラス コートジボ ワール パナマ フィリピン スリナム	
			コーヒーノミキクイムシ (<i>Hypothenemus hampei</i>)	コーヒー	コスタリカ	2028年 12月31 日
			カイガラムシ類 (<i>Aulacaspis tubercularis</i>) アブ ラムシ (複数)	マンゴー	プエルトリ コ	2028年 12月31 日



有効成分	CAS 番号	毒性分類	病害虫	農作物	国	有効期限
スピロジクロフェン	148 477- 71-8	慢性毒性	ヒメハダニ科のダニの一種 (<i>Brevipalpus yothersi</i>)	柑橘類	ブラジル チリ	2028年 12月31 日
チアクロプロリド	111 988- 49-9	慢性毒性	カスミカメムシ科の一種 (<i>Helopeltis theivora</i>)	茶類	インド	2026年 12月31 日
チアメトキサム 対象：バナナ、ブドウ、茶類 スポット散布のみ可。 対象：カカオ - スポット散布のみ可。 - 年間4回までの散布が許可される。 - ガーナにおいては、8月から12月にかけて散布が 実施される。 - コートジボワールでは、7月・8月（28日間隔） 、12月・1月（28日間隔）に散布が実施される 。 対象：花卉類 温室などの密閉環境下でのみ使用可能。	153 719- 23-4	深刻な影響（授粉 媒介者のリスク）	ゾウムシ (<i>Heilipus fassli</i>)	アボカド	コロンビア	2028年 12月31 日
			線虫類（各種）	バナナ	カメルーン コロンビア エクアドル グアテマラ ホンジュラス パナマ	2028年 12月31 日
			カスミカメムシ科の一種 (<i>Distantiella theobroma</i>)、カスミカメムシ科の一種 (<i>Sahlbergella singularis</i>)、ココアツマキホソガ (<i>Conopomorpha cramerella</i>)	カカオ	ガーナ インドネシア コートジボ ワール ナ イジェリア	2028年 12月31 日
			ハモグリガの一種 (<i>Leucoptera coffeella</i>)	コーヒー	ブラジル ペルー タンザニア	2028年 12月31 日
			アブラムシ (<i>Macrosiphum</i> 属, <i>Myzus</i> 属)、アザ ミウマ (<i>Frankliniella</i> 属, <i>Thrips</i> 属)、コナジラミ (<i>Trialeurodes</i> 属)	花卉類	コロンビア エクアドル グアテマラ 、メキシコ	2028年 12月31 日
			ワタフキカイガラムシ科の一種 (<i>Eurhizococcus brasiliensis</i>)	ブドウ	ブラジル	2028年 12月31 日



有効成分	CAS番号	毒性分類	病害虫	農作物	国	有効期限
			コナカイガラムシ（複数）、アザミウマ（複数）	マンゴー	プエルトリコ	2028年12月31日
			タバココナジラミ (<i>Bemisia tabaci</i>)	メロン	コスタリカ	2028年12月31日
			コナカイガラムシ科 (<i>Dysmicoccus brevipes</i>)	パイナップル	コスタリカ	2028年12月31日
			カスミカメムシ科の一種 (<i>Helopeltis theivora</i>)	茶類	インド	2028年12月31日
			タバココナジラミ (<i>Bemisia tabaci</i>)	スイカ	コスタリカ	2028年12月31日

4.5.貯穀害虫駆除のための燻蒸剤

レインフォレスト・アライアンスは、表5に記載された条件を完全に満たす場合に限り、貯穀害虫駆除のために以下の燻蒸剤の使用を許可します。

条件:燻蒸剤（吸入すると生命に危険）に関するリスク管理要件が完全に実施されていること（上記リスク管理の項を参照）

表5.認められる禁止燻蒸剤の例外

有効成分	CAS番号	毒性分類	病害虫	農作物	国	有効期限
リン化アルミニウム ホスフィン 収穫後の工程にのみ使用が許可される。	20859-73-8 7803-51-2	吸入すると生命に危険	複数	カカオ	すべての国	2028年12月31日



リン化アルミニウム ホスフィン 収穫後の工程にのみ使用が許可される。	20859-73-8 7803-51-2	吸入すると生命に危険	複数	コーヒー	すべての 国	2028年12月31日
リン化アルミニウム リン化マグネシウム ホスフィン 収穫後の工程にのみ使用が許可される。	20859-73-8 12057-74-8 7803-51-2	吸入すると生命に危険	複数	ハーブとスパイス類	すべての 国	2028年12月31日
リン化マグネシウム ホスフィン	12057-74-8 7803-51-2	吸入すると生命に危険	アザミウマ (<i>Frankliniella</i> 属, <i>Thrips</i> 属)	花卉類	コロンビ ア	2028年12月31日
リン化アルミニウム リン化マグネシウム ホスフィン 収穫後の工程にのみ使用が許可される。	20859-73-8 12057-74-8 7803-51-2	吸入すると生命に危険	複数	適用法で義務付けられ る場合、あらゆる農作 物	すべての 国	2028年12月31日



4.6.殺菌剤

レインフォレスト・アライアンスは、表6に記載された条件を完全に満たす場合に限り、以下の殺菌剤の使用を許可します。

条件：慢性毒性および深刻な影響（授粉媒介者）に対するリスク管理戦略が完全に実施されていること。

表6.認められる殺菌剤の例外

有効成分	CAS番号	毒性分類	病害虫	農作物	国	有効期限
カルベンダジム 開花前のみ使用可。 トラクター（密閉型）とブームスプレーヤによる散布方法のみ許可される。	10605-21-7	慢性毒性	萎ちょう病（ <i>Fusarium</i> 属）、炭疽病（ <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> ）、黒腐病（ <i>Thielaviopsis paradoxa</i> ）	パイナップル	コスタリカ	2028年12月31日
テトラクロロイソフタロニトリル 対象：ルイボス 苗木、苗床にのみ使用を許可。	1897-45-6	慢性毒性	葉枯病（ <i>Stemphylium vesicarium</i> ）	アスパラガス	ペルー	2026年12月31日
			シガトカ病（ <i>Pseudocercospora fijiensis</i> ）、バナナ黒点病（ <i>Phyllosticta musarum</i> ）	バナナ	コロンビア コスタリカ エクアドル グアテマラ ホンジュラス フィリピン	2026年12月31日
			炭疽病（ <i>Colletotrichum</i> 属）、斑点病（ <i>Cercospora</i> 属）、軸腐病（ <i>Lasioidiplodia</i> 属）、黒星病（ <i>Cladosporium</i> 属）	マンゴー	プエルトリコ	2026年12月31日



有効成分	CAS番号	毒性分類	病害虫	農作物	国	有効期限
			灰色かび病 (<i>Botrytis cinerea</i>)、炭疽病 (<i>Colletotrichum acutatum</i>)	ルイボス	南アフリカ	2026年12月31日
シプロコナゾール	94361-06-5	慢性毒性	コーヒーノキ葉さび病 (<i>Hemileia vastatrix</i>)、炭疽病 (<i>Colletotrichum</i> 属)、アメリカ斑点病 (<i>Mycena Citricolor</i>)、褐眼病 (<i>Cercospora coffeicola</i>)、赤衣病 (<i>Erythricium salmonicolor</i>)、白絹病の一種 (<i>Corticium</i> 属)	コーヒー	ブラジル コロンビア コスタリカ ドミニカ共和国 エルサルバドル グアテマラ ホンジュラス メキシコ ニカラガ グア パナマ ペルー	2028年12月31日
ジメトモルフ	110488-70-5	慢性毒性	ブラックポッド病 (<i>Phytophthora</i> 属)	カカオ	リベリア	2028年12月31日
			べと病 (<i>Peronospora sparsa</i>)	花卉類	エクアドル メキシコ	2028年12月31日
			べと病 (<i>Pseudoperonospora cubensis</i>)	メロン	ブラジル	2028年12月31日



有効成分	CAS番号	毒性分類	病害虫	農作物	国	有効期限
エポキシコナゾール	133855-98-8	慢性毒性			コスタ リカ グアテ マラ	
			べと病 (<i>Pseudoperonospora cubensis</i>)	スイカ	コスタ リカ グアテ マラ	2028年12月31日
			シガトカ病 (<i>Pseudocercospora fijiensis</i>)	バナナ	ベリー ズ カメル ーン コロン ビア コスタ リカ エクア ドル グアテ マラ ホンジ ュラス コート ジボワ ール パナマ フィリ ピン	2028年12月31日
			コーヒーノキ葉さび病 (<i>Hemileia vastatrix</i>)、 炭疽病 (<i>Colletotrichum</i> 属)、アメリカ葉斑病 (<i>Mycena Citricolor</i>)、褐眼病 (<i>Cercospora coffeicola</i>)	コーヒー	ブラジ ル コスタ リカ グアテ マラ ホンジ ュラス ケニア	2028年12月31日



有効成分	CAS番号	毒性分類	病害虫	農作物	国	有効期限
					メキシコ ニカラグア パナマ ペルー コロンビア エルサルバドル	
イプロジオン 対象：ルイボス 苗木、苗床にのみ使用を許可	36734-19-7	慢性毒性	菌核病 (<i>Sclerotinia sclerotiorum</i>)、すす病 (<i>Capnodium</i> 属)	花卉類	コロンビア エクアドル メキシコ アメリカ合衆国	2028年12月31日
			炭疽病 (<i>Colletotrichum acutatum</i>)	ルイボス	南アフリカ	2028年12月31日
マンゼブ 対象：ジャガイモ 輪作を実施するのが望ましい	8018-01-7	慢性毒性	シガトカ病 (<i>Pseudocercospora fijiensis</i>)	バナナ	ベリーズ ブラジル カメルーン コロンビア コスタリカ エクアドル	2028年12月31日



有効成分	CAS番号	毒性分類	病害虫	農作物	国	有効期限
					グアテマラ ホンジュラス コートジボワール メキシコ ニカラグア パナマ フィリピン スリナム	
			ブラックポッド病 (<i>Phytophthora</i> 属)	カカオ	コートジボワール リベリア ニカラグア	2028年12月31日
			べと病 (<i>Peronospora sparsa</i>)、ボトリチス病 (<i>Botrytis cinerea</i>)	花卉類	コロンビア エクアドル グアテマラ メキシコ アメリカ合衆国	2028年12月31日



有効成分	CAS番号	毒性分類	病害虫	農作物	国	有効期限
			べと病 (<i>Plasmopara viticola</i>)	ブドウ	ブラジル ペルー	2028年12月31日
			トウモロコシ斑点病 (<i>Phaeosphaeria maydis</i>)	トウモロコシ	ブラジル	2028年12月31日
			炭疽病 (<i>Colletotrichum</i> 属)、黒星病 (<i>Elsinoe mangiferae</i>)	マンゴー	ブラジル コスタリカ ペルー プエルトリコ	2026年12月31日
			べと病 (<i>Pseudoperonospora cubensis</i>)、炭疽病 (<i>Colletotrichum</i> 属) 葉枯病 (<i>Alternaria</i> 属)	メロン	ブラジル コスタリカ	2028年12月31日
			黒斑病 (<i>Alternaria porri</i>)	タマネギ	ブラジル	2028年12月31日
			夏疫病 (<i>Cercospora apii</i>)、べと病 (<i>Pseudoperonospora cubensis</i>)、灰色カビ病 (<i>Botrytis cinerea</i>)、炭疽病 (<i>Colletotrichum</i> 属)、芽腐病 (<i>Phytophthora palmivora</i>)	パパイヤ	ブラジル コスタリカ	2028年12月31日
			根腐病 (<i>Phytophthora</i> 属)	パイナップル	コスタリカ エスワティニ	2028年12月31日



有効成分	CAS番号	毒性分類	病害虫	農作物	国	有効期限
			疫病 (<i>Phytophthora infestans</i>)、夏疫病 (<i>Alternaria solani</i>)	ジャガイモ	ブラジル チリ ウガンダ	2028年12月31日
			ダイズさび病 (<i>Phakopsora pachyrhizi</i>)、褐色輪紋病 (<i>Corynespora cassicola</i>)、紫斑病 (<i>Cercospora kikuchii</i>)、褐紋病 (<i>Septoria glycines</i>)	大豆	ブラジル	2028年12月31日
			輪斑病 (<i>Pseudopezalotiopsis theae</i>)	茶類	インド	2028年12月31日
			べと病 (<i>Pseudoperonospora cubensis</i>)、炭疽病 (<i>Colletotrichum</i> 属)、葉枯病 (<i>Alternaria</i> 属)	スイカ	ブラジル コスタリカ	2028年12月31日
プロピコナゾール 種子処理にのみ使用を許可。	60207-90-1	慢性毒性	萎ちょう病 (<i>Fusarium</i> 属)、 基腐病 (<i>Ceratocystis paradoxa</i>)	パイナップル	コスタリカ エクアドル	2026年12月31日
トリアジメノール	55219-65-3	慢性毒性	シガトカ病 (<i>Pseudocercospora fijiensis</i>)	バナナ	コロンビア コスタリカ エクアドル グアテマラ ホンジュラス	2028年12月31日



有効成分	CAS番号	毒性分類	病害虫	農作物	国	有効期限
					ニカラ グア フィリ ピン	